



独立行政法人  国立病院機構

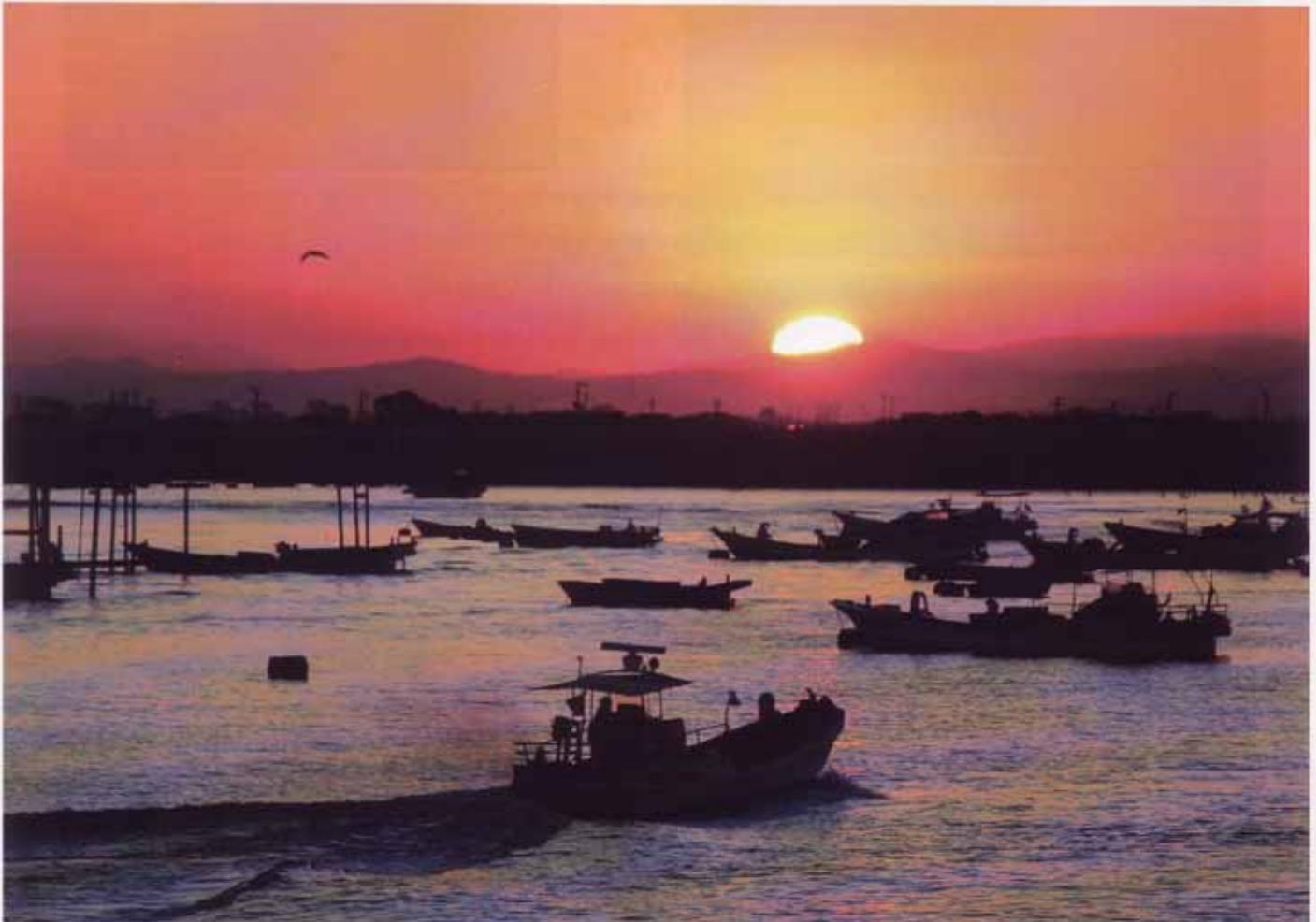
# うれしの

## 第12号

発行所  
嬉野医療センター  
佐賀県嬉野市嬉野町  
大字下宿丙2436番地  
印刷 陽文社印刷株式会社

NHO URESHINO MEDICAL CENTER

2007.1



### 患者さんの権利

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 安全で、かつ平等な最善の医療を受ける権利      | 5 常に人としての尊厳を守られる権利             |
| 2 疾患の治療等に必要な情報を得、また教育を受ける権利 | 6 医療上の苦情を申し立てる権利               |
| 3 治療法を自由に選択し、決定する権利         | 7 継続して一貫した医療を受ける権利             |
| 4 プライバシーが守られる権利             | 8 生活の質（QOL）や生活背景に配慮された医療を受ける権利 |

## CONTENTS

- |  |   |
|--|---|
| ② 年頭所感                                 | ⑦ お笑いマジックのクリスマスプレゼント<br>クリスマスコンサートを開催して<br>ボウリング大会開催される |
| ③ 地域医療支援病院の承認を受けて                      | ⑧ 新人紹介／2007年カレンダー（1月～3月）                                |
| ④ 伝達講習の担当になって<br>第4回国立病院看護研究会学術集會に参加して | ⑨ 年男・年女   |
| ⑤ ちけん室コーナー                             | ⑩ 外来診療担当医表／編集後記   |
| ⑥ 消防訓練を実施して／人命救助の表彰を受けました              |   |

基本理念 「信頼と心のゆとり」

# 年頭所感

院長 古賀満明

新年明けましておめでとうございます。月日が経つのは早いもので、私が当院へ赴任して早4回目の新年を迎えます。昨年1年間を振り返ると、年明け早々に、日本医療機能評価機構から審査体制区分3 (Ver5) での認定証が届きました。その後、佐賀県では2番目となる地域診療支援病院の名称承認を受け、仕事納めの12月28日には、がん診療連携拠点病院に指定された旨の連絡を受けました。さらに国立病院機構内で実施された病院評価の医療面評価では、全国同規模病院中、なんと第1位(平成17年度)に輝きました。独立行政法人化後、医療の質の向上を第一優先に取り組んできた結果が、一挙に花開いたものと思います。これまでの職員の皆さんの努力と共に地域医師会ならびに行政関係各位のご支援の賜と、この紙面を借りて厚く感謝申し上げます。

さて今年は何の年、新たな目標に向かってイノシシのごとく突進しましょう。それでは、何に向かって突進するのか？

診療面では高度先進医療の提供を使命とする急性期型地域中核病院として、更なる診療の質の向上はもちろん、医療連携の質の向上を図りたいと考えます。これまで地域医療連携室の開設、医療社会事業専門員の配置、かかりつけ医運動の展開、逆紹介の推進など連携システムの整備と機能分化を推進してきました。これからは、患者を主体とした地域全体の医療水準の向上を目指し、新たな医療連携の構築に取り組むと考えています。

また、継続的な医療の質の向上には、広い分野での人材育成が欠かせません。看護学生の育成に関しては、平成20年度から国立病院機構付属としては、佐賀県内で唯一の看護学校となります。仕事始めの日、一昨年より要望していた看護学校の新築建て替えの決定通知が届きました。これを機に、国立病院機構と地域に必要とされる看護師の養成に力を注ぎたいと考えています。看護職員に関しても、昨年は佐賀県では第1号となる感染管理認定看護師が育ちました。これに続く認定看護師の養成にも取り組むと思います。医師部門では来年度も管理型での研修医と専修医を採用します。日本の医療の将来を背負っていく医師、ならびにチームとして医療を担うコメディカルと事務スタッフの教育・研修にも積極的に取り組むと思います。

本院の基本理念に掲げる、医療の質の向上、安全で安心できる医療の提供、健全な経営基盤の確立により、患者さんと地域に信頼される病院を目指し、全職員が「一家一心」(第二の家族というべき病院職員が心をつなげて)で頑張っていきたいと思います。



## 「地域医療支援病院の承認を受けて」

地域医療連携室長 岡 忠之



平成 18 年 10 月 31 日付けで、「地域医療支援病院」の名称承認を受けました。

平成 9 年の医療法第 3 次改正において、地域医療支援病院は「住民の身近な所で医療を提供する、かかりつけ医、かかりつけ

歯科医を支援し、地域に必要な医療を確保する地域医療連携の中核をなす病院」と位置付けられました。いわゆる「地域完結型の医療体系」の中で、その地域の中心的役割を担った病院、これが「地域医療支援病院」です。

本院では地域の医療機関との密接な連携を確立し、地域住民へ質の高い医療サービスの提供を目指した「嬉野医療センター地域医療連携室」を平成 16 年 8 月 2 日に開設しました。地域医療連携室は地域の医療機関と当院とを橋渡しする役割を担い、地域医療の連携を促進し、その結果として地域医療支援病院の資格を取得する事を目標として活動してきました。①連携室を通して紹介患者や大型医療機器を用いた諸検査の事前予約制の導入、②速やかな返信の徹底策、③平成 17 年 4 月から開放型病院となり「かかりつけ医運動」の展開、④逆紹介の推進を図りました。その結果は図に示すごとく、まず逆紹介率の上昇、続いて紹介率の上昇を得、平成 17 年度で紹介率 46.8%、逆紹介率 65.7%に達し、承認申請に至りました。この間における医師会の先生方、地域の医療機関、当院のスタッフのご協力に深く感謝いたします。

平成 18 年 8 月 11 日時点での地域医療支援病院数は全国で 123 施設、国立病院機構ではわずか 11 施設に過ぎません。佐賀県では 2 番目の施設になります。佐賀県南部医療圏の地域医療支援病院として、地域医療の充実を図ると言う責任があります。今後、当院が地域医療支援病院として以下のようなことに力を入れていきたいと思っています。

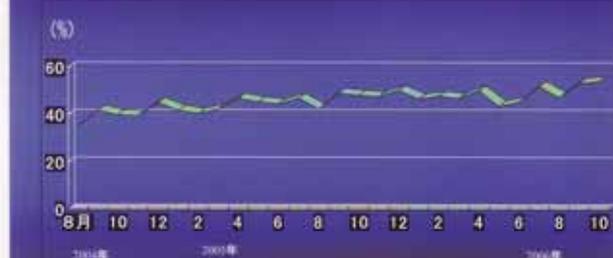
① 地域に必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関としての役割を果たす。

かかりつけ医から重症患者様を 24 時間体制で積極的に受け入れ、急性期を乗り越えられた患者様は、再び紹介医にお返しする、いわゆる逆紹介を更に推進させます。これにより地域の医療機関との適切な役割分担と連携はかり、二次医療圏単位で地域医療の充実を図りたいと考えています。

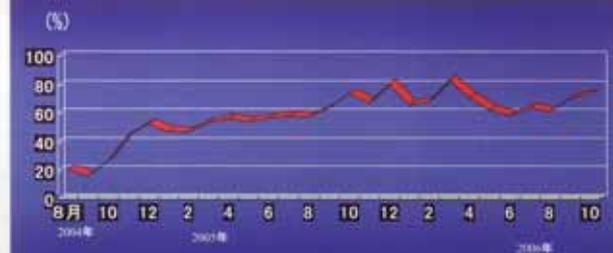
② 救急医療の実施。

これまで通り「決して断らない」を基本方針とし、また救急医療の現場で重要な役割を有する救命救急士の教育・研修にも積極的に取り組みます。

### 地域医療支援病院紹介率



### 地域医療支援病院逆紹介率



③ 施設・設備の開放として大型医療機器の共同利用、開放型病床の推進。

現在 1 月に約 90 件の検査依頼を受けています。読影所見・検査結果はその日の内にレポートとしてお返しします。

④ 在宅医療の支援。

かかりつけ医の先生方が在宅医療の一環として往診されて、その患者様に入院治療が必要と判断された場合に、開放型病院の登録患者、もしくは一般紹介患者として当院への入院を受け入れて、在宅医療の支援を行いたいと思っています。

⑤ 地域の医師、医療関係者の資質の向上を図る目的で研修の機会の提供や、医療情報の提供を行う。

これまで「嬉野医療センタークリニカルセミナー」を開催してきました。

各科の医長が中心となって、それぞれの分野の最新情報、先端医療などの紹介を行ってきました。今後は医師のみならず、看護師・ソーシャルワーカー・薬剤師・医療事務担当者などにも対象を拡大して、講演会や研修を通して医療情報の提供を行っていきます。

また近い将来において、IT を利用した「地域医療ネットワーク」を構築して新しい体系の地域医療連携がスタートでき

ればと思っています。

以上、当院は地域医療支援病院として地域の医療機関からの期待は大きく、またその責任は重いと考えています。現在、平成20年4月に策定される佐賀県の保健医療計画の作成が進められていますが、その中において本院は佐賀県南

西部における地域の拠点病院として、地域医療の向上に貢献していきたいと考えています。地域の医療機関、ならびに当院の全てのスタッフのご支援、ご協力をお願いする次第です。



## 伝達講習の担当になって

東3病棟看護師長 山下みどり

教育委員会主催で毎年行っている、伝達講習の担当となって平成18年10月より5回の伝達が行われ、残り1回となりました。これまでは年に2~3回のペースでの伝達だったのが6回に増え、内容も多種多様になってきました。これは、新しく高度な知識の習得を希望する意欲の表れだと思います。伝達して下さる

方も、短い時間で分かりやすく伝えるのは大変だったと思いますが、どなたも大変上手にまとめて伝えていただきました。又参加も毎回100人前後と多く、資料の印刷が間に合わないほどでした。これからも、一人でも多くの方に研修に参加してもらい、嬉野医療センターの看護の質をさらに高めていきたいと思っています。

| 伝達講習日時    | コース名         | 伝達者氏名 | 研修名                          |
|-----------|--------------|-------|------------------------------|
| H18.10.17 | 感染管理         | 岩谷佳代子 | 感染管理認定看護師                    |
| H18.11.15 | 看護研究         | 徳永二美代 | 看護研究基礎コース                    |
|           |              | 松尾寿子  |                              |
|           | 脳卒中看護        | 草刈かおり | 循環器病診療に従事する看護師研修SCU過程        |
| H18.11.28 | 実習指導         | 吉松晴美  | 摂食、嚥下障害看護                    |
|           |              | 長島七   | 平成18年度保健師助産師看護師実習指導者講習会      |
| H18.12.5  | 循環器看護        | 宮口恵美  |                              |
|           |              | 中島淳子  | 平成18年度循環器病診療に従事する看護師研修会      |
|           |              | 牟田裕美  |                              |
|           |              | 今里由美  | 平成18年度エキスパートナーズ研修(循環器)       |
| 稲富真理子     |              |       |                              |
| H18.12.19 | 認知症高齢者看護     | 川崎多恵子 | 平成18年度エキスパートナーズ研修(認知症、高齢者)   |
|           |              | 宮原知恵子 | 平成18年度認知症高齢者対策研修             |
|           |              | 松田美香  |                              |
| H19.1.10  | 糖尿病、ガン化学療法看護 | 馬場勝江  | 平成18年度内分泌、代謝性疾患研修会           |
|           |              | 松本智子  | 平成18年度看護エキスパートナーズ研修(ガン、化学療法) |



## 第4回

## 国立病院看護研究学会学術集会に参加して

手術室看護師 福田綾子

平成18年11月25日(土)福岡国際会議場にて、第4回国立病院看護研究学会学術集会が開催されました。当院からも3名の看護師が病棟の特殊性を出した議題で発表しました。私は、「手術を受けた患者様からの無影灯が気になった」という声をきっかけに、患者様の声に耳を傾け、研究に取り組みしました。私にとって初めての院外研究発表だったので、不安と緊張でいっばいの発表でしたが、とても有意義な学会でした。また、他施設が行なっている術前・術後訪問スタイルなど多くの発表

が参考になった一方で、今の手術室を客観的に見直すきっかけとなり、更に、「研究の重要性」を再確認する事ができました。

また、山田副看護部長の特別講演にもあったように私の今の課題は、「臨床の場で疑問に対し研究的アプローチにより解明していく能力を身につけること」であると実感しています。今後も研究心を持ち続け、日々の看護に生かしていきたいと思っています。

# ちけん室コーナー

治験管理室 CRC 岩永由香



## 今回のお題 CRCのお仕事②

### 患者様が治験に参加されたら(後編)

前回に続き、今回は実際にどのように治験が行なわれていくのかをお話いたします。

#### ① 被験者の登録

患者様に治験参加の同意をもらい、投薬前の検査で本当に治験に参加していただいてもよいか確認ができたなら、登録を行います。通常は登録センターへFaxや電話で連絡をします。この場合も患者様の名前が登録されるのではなく「1番さん」、「2番さん」というように番号で登録します。登録されると「1番さんには③番の薬です」と治験薬の割り振りの連絡が入ります。医師は割り振られた番号の治験薬を間違いなく処方しなければいけません。どうしてこの割り振りがあるかというと、通常は治験薬と治験薬の成分の入っていないもの(プラセボ)のどちらかを使ってもらうというやり方で治験は行われています。患者様も医師も治験薬なのか、そうでないのかはわからないようになっていて、この方法は治験薬の作用を公平に判断するためにとられる最も適格な方法であり、世界中で行われています。

#### ② 治験薬の処方

薬の割り振りが決まったら治験薬が処方されます。CRCは患者様が間違いなく治験薬を服用していただけるようご説明します。治験薬はまだ承認されていない未知な部分のある薬です。他の人にあげたり、なくしたりすることのないよう飲み残しは必ずもってきていただきます。また、お薬の中には治験薬の作用を強めたり、弱めたり、治験薬の効果がはっきりわからなくなるようなものもあり、これらは治験薬と一緒に飲んではいけなくなっています。そんなのめんどくさいし、よくわからない!...

でも、ご安心。治験に参加している期間や一緒に飲んではいけない薬や、問い合わせ先などが書かれ

たカードをお渡しします。

#### ③ 診察

治験中は決められたスケジュールでの受診が必要ですが、許容期間があるのでその範囲内で診察や検査を受けていただきます。患者様の都合に合わせてスケジュールを組みますが、患者様の安全性と治験薬の有効性の確認のため指定された検査は必ず受けていただきますのでいつもより受診の回数が増えるかもしれません。できるだけ待ち時間が少なくスムーズに検査・診察・会計が終わるように配慮していきます。治験を受ける際に一番心配なことは安全性ではないでしょうか。治験中は安全性、副作用に最も注意して診察が行われます。患者様が小さな体調の変化なども医師へ伝えられるようCRCが体調をお尋ねしていきます。CRCは医師と患者様のパイプ役です。

診察日以外で具合が悪くなったりした場合でも必要な診察が受けられるように手配します。

#### ④ 治験の終了

決められた期間治験薬を服用していただき、治験薬をやめたあとも体に異常がないことを確認したら治験は終了となります。患者様から提供していただいた貴重なデータを報告書に記載し、製薬会社に提出し終わりとなります。このデータは厚生労働省にくすりとしての使用を承認してもらうための申請に使用されます。

医師が製薬会社から治験の依頼を受けてから治験が終了するまでを3回シリーズでお話しさせていただきました。治験についてなんとなくイメージできたでしょうか? 治験の場面にはいつもCRCがいます。ご好意で参加していただいたのですから、患者様から「参加してよかった」と思っていただけというCRCは日々努力しています。

#### 次回のテーマは

治験に参加した場合の費用はどうなるの? を予定しています。



## 消防訓練を実施して

管理課庶務班長 馬渡永年

当院では、毎年2回の消防訓練を実施しています。

今回、12月19日に実施した訓練は、15時に1階病棟配膳室から出火したという想定で、通報連絡(119番通報)、初期消火、避難誘導等を行い、避難完了後には、実際に消火器を使った消火訓練や屋内散水栓を使用した放水訓練も行いました。

訓練に参加した職員の中には、息を切らして急いでいる人もいれば、比較的のんびりとした人もいたようで、嬉野消防署長からの講評では、「なるべく実践に近い形で訓練が望まれます。」とのご指摘も受けましたが、全般的には、非常放送が丁寧でわかりやすかったことや実際に防火戸を使用したことなど、「真剣に訓練に取り組んでいただいて大変よかったですと思います。」というお誉めの言葉で締めくくられました。

実際に火災が発生した場合は、迅速に初期消火にあたることは勿論ですが、病院においては、患者さんを如何に安全な場所に避難させるかが最も大切なことであるのは言うまでもありません。そのためには、まず大声で「火事だぁー」と叫んで、火事であることを周囲に知

らせることが大切です。そこからできるだけ多くの人の協力を得るようにして下さい。これは家庭でも同じことが言えますので、こういう訓練の時から常に大きな声を出すよう心掛けましょう。

最後になりましたが、寒い中を訓練に参加された皆さん、また、模擬患者等として協力していただいた看護学生の皆さん、大変お疲れ様でした。次回は、更に臨場感のある訓練にしたいと思いますので、皆様方のご協力をよろしくお願い致します。



## 人命救助の表彰を受けました

内科外来看護師 相川恵美

平成18年2月、仕事帰りに子供と一緒に公園に行くと、そばにあるため池に児童が誤って転落し、首から下が水の中に入っている状況に遭遇しました。通りがかりの女性が人を呼び、別の女性が消防署などに連絡をしているところでした。私は思わず池のほうへ精一杯体を投げ出して、なんと子供と手をつなぐことができました。しかし子供の着衣が水を含んでいたために重くて水中から子供を引き上げることができませんでした。そのとき丁度通りがかりの男性が手を貸してくださり、やっと子供を助け出すことができました。

特別なことをしたとは思っていません。誰でも同じ場に遭遇すれば同じように助けたことと思います。私も自分が何ができるかと思った瞬間、手を出していました。

子供を持つ親として、またいつも人とかかわる仕事をしているものとして当たり前のことをしたと思っていますし、これからは自分にできることを精一杯していこうと

思っています。

今回私たちは表彰を受けましたが、他の場でも人と人との間にたくさんの助け合いが行われていると思います。これからもそのような助け合いがますます増えて、人と人との間に温かく優しい輪が広がって欲しいと思います。





## お笑いマジックのクリスマスプレゼント

西3病棟看護師長  
大森清子

去る12月11日午後2時から、お笑いマジックによる一足早いクリスマス気分を味わおうと、3階食堂でマジックショーを行いました。マジシャンは、佐賀テレビでおなじみの、「デーブ山田」と「としみうら」さん。お二人は、佐賀県内の総合病院や、老人ホームを定期的に訪問し、1年中ボランティア活動をして回られています。小児科医の友人でもあり、子どもたちを喜ばせようと、当院も夏に続いて2回目の公演でした。愉快的トークと手品、手際の良いバルーンアートで、子どもたちや家族、職員など30人ほどが集い、食堂内は驚きと歓声に包まれ、楽しい時間を過ごすことができました。公演の後、子どもたちは、ひとりひとりクマやキリンなど動物に仕



立てたバルーンをもらって大喜び、ベッドに戻っても嬉しそうな笑顔で、私たちも幸せなひと時でした。



## クリスマスコンサートを開催して

泌尿器科医長 計屋紘信

恒例となりましたクリスマスコンサートを12月3日に開催しました。

今回も多く入院患者さん、外来患者さんに来ていただき、受付前ホールがいっぱいになりました。

曲目は別紙のチラシのとおりですが、今回の目玉は国立東佐賀病院の柳 美幸放射線技師長のバイオリンによる友情出演と、国立長崎病院の小川真矢栄養師さんの三味線と歌でした。また胡弓の音色も皆さん楽しまれているように思いました。

写真は全員合奏で熱演中のところです。

次回は6月10日になると思います。どうぞお楽しみに。



## ボーリング大会開催される

管理課職員係長 田辺俊介

今年も昨年度に引き続き、11月27日、28日、30日にわたり院内レクレーションとして、ボーリング大会を開催し、院長先生はじめ総勢232名の参加で盛り上がりました。常日頃運動不足の解消と、職員間の交流を深め、活気ある職場形成のために委員会企画した次第です。

ルールは、職場対抗3人1チームで2ゲームの総得点の多いチーム(女性はハンディ1ゲーム30点)が勝ちというルールで得点を競いました。ボールを後ろに投げる珍プレーもありましたが、今年は女性の活躍が目立ち個人優勝、団体優勝も女性の勝利となりました。今後も職場間のコミュニケーションを図るため福利厚生を充実していきたいと思っております。



# 新人紹介



## 5病棟クラーク 蒲原 夕加里

看護部5病棟クラークの蒲原夕加里です。鹿島市出身です。午前中は外来案内で、午後からは病棟にいます。病院関係は初めてなので分からない事が多いと思いますが、毎日笑顔絶やさず患者さんや職員さん達と接して行きたいと思っています。何かあったら気軽に声を掛けて下さい。一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。



## 外来看護師 岸川 彩

このたび、外来に勤務することになりました岸川です。毎日色々学ぶことが多く、余裕がなくなりそうにはなりますが、患者様にはそのような様子が見えたくないので、少しでも伝わらないようにしていきたいと考えています。実務経験がほとんどないので、みなさんにご迷惑をかけることが多いとは思いますが、頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



## 循環器科医師(レジデント) 泉川 卓也

はじめまして、2006年11月16日より長崎大学第二内科より派遣され内科循環器科として勤務しております泉川卓也です。

態度も体もXLサイズのため随分前から勤務しているように思われがちですが、まだ嬉野に来て二ヶ月、医師としては三年のキャリアしか持ち合わせておりません。学生時代はアメリカンフットボール部に所属しておりまして、現在でも週三回は筋力トレーニングを欠かしておりません。そろそろパーペルを教科書に持ち直さないといけないと自問自答しておりますがなかなか……。まだまだ未熟な私ですが、少しでも役に立てるように医療に励みたいと思っておりますので今後とも宜しくお願いいたします。



## 産婦人科医師 松脇 隆博

昭和62年6月長崎大学産婦人科入局。一男一女の4人家族。

平成10年7月から五島列島の中通島にあります上五島病院(新上五島町青方郷)に平成18年11月までの8年5ヶ月勤務。嬉野医療センター勤務は久々の本土復帰になります。

よろしくお願い致します。



# 2007年 カレンダー (1月~3月)

医療安全管理委員会 リスクマネジメント部会 看護部リスクマネジメント部会

**「つもり」が 積もって 事故になる** (東1病棟)

2007年 1月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  |
| 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |    |

嬉野医療センター

**PDA 使って防ごう** (東1病棟)

2007年 2月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 |    |    |    |

嬉野医療センター

**足る言わぬ慣れる、このふるたを痛痛からなしてみませんか?** (看護学校)

2007年 3月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

嬉野医療センター



嬉野医療センター・外来診療担当医表

Table with columns for department (e.g., 新患外来, 呼吸器科, 消化器科) and days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金). It lists the names of the attending physicians for each department and day.

ご紹介いただく患者様につきましては可能な限り事前予約をおとりいただきますようお願い致します。

特殊診療のご案内

- 内科系 第2・第4木曜日はペースメーカー外来を行っています。
小児科 第4木曜日は心臓外来(受付13時~16時)
外科 1一般外科 2呼吸器外科 3消化器外科 4乳腺外科
整形外科 整形外科外来
皮膚科 毎月第1火曜日の午後は、ストーマ外来を予約により行っています。
産婦人科 毎月第1火曜日の午後は母乳育児指導を受付けています。
眼科 毎月第1・第3木曜日の午前及び毎週水曜日の午後は、補聴器外来を行っています。
耳鼻咽喉科
歯科
麻酔科

当院の受付時間は、午前8時30分~午前11時00分迄です。

(2007.1.5)

編集後記

暖冬と言われながらも、厳しい寒さに身も震える日々が続いていますが、読者の皆様には如何お過ごしでしょうか。少し遅くなりましたが、嬉野医療センターから広報誌平成19年度新春号をお届け致します。
今号は古賀満明院長の「年頭所感」に引き続き、昨年10月31日付で「地域医療支援病院」の認定をうけたことを岡忠之統括診療部長に述べていただきました。そのあと伝達講習、学術集会、治療室コーナー、以下消防訓練、クリスマスコンサート、新人紹介、年男、年女の抱負など院内外の新しい動きをお知らせいたしました。
どうぞ自由にお持ちください。お読みいただき感想などお寄せいただければ幸いです。

広報編集委員長 計屋 紘信 (0954-43-1120 内線669)